

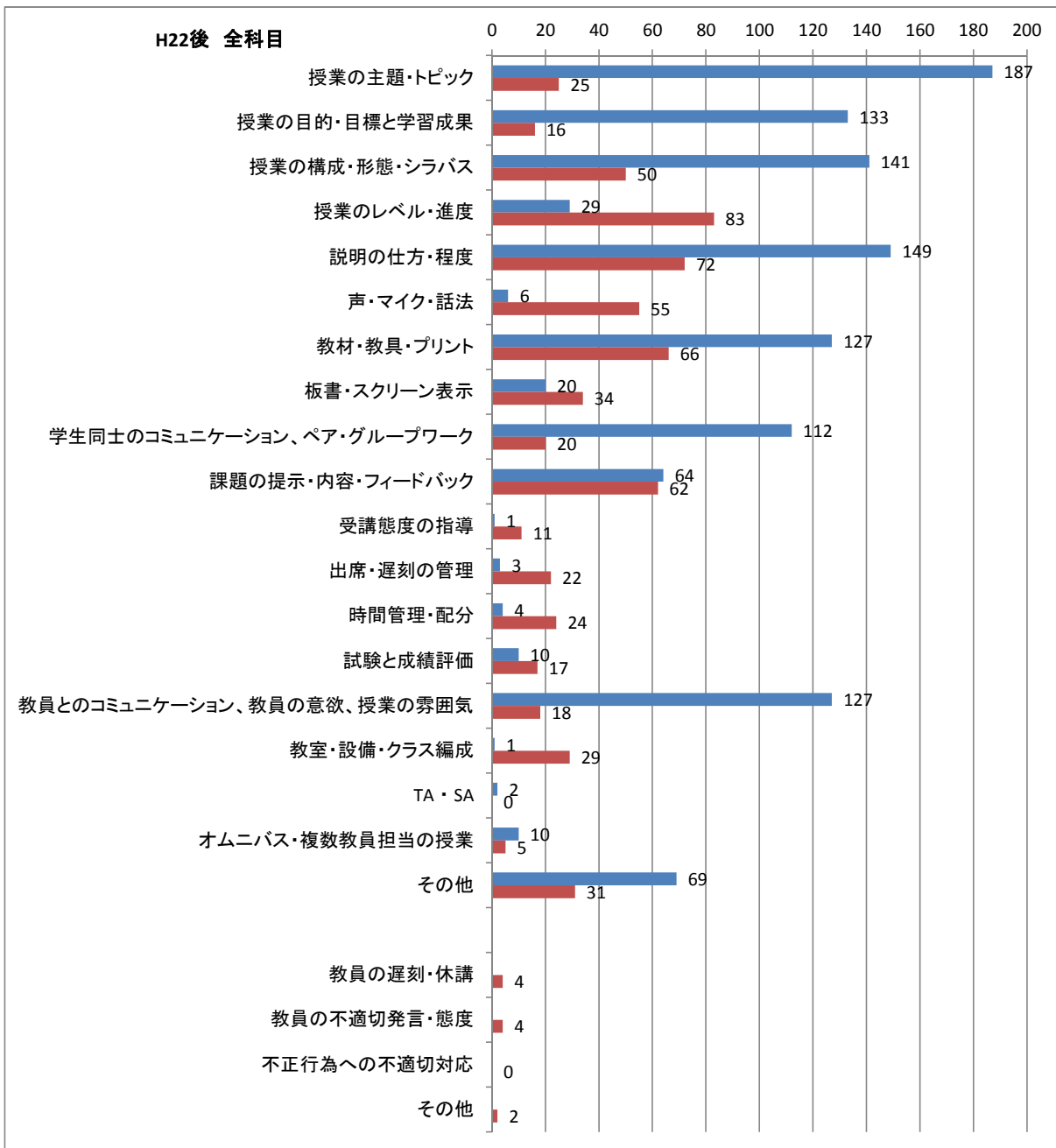
カテゴリー	全科目		こころと健康		スポーツ科目		英語		理系基礎科目		教養コア科目		文系主題科目		理系主題科目		初めての外国語		発展科目		日本語科目	
	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
1 授業の主題・トピック	187	25	2	0	4	1	12	4	12	4	36	1	66	9	10	3	41	3	4	0	0	0
2 授業の目的・目標と学習成果	133	16	0	1	7	1	46	5	4	3	12	2	45	4	5	0	12	0	2	0	0	0
3 授業の構成・形態・シラバス	141	50	0	1	9	0	83	12	5	5	3	4	20	8	7	6	14	9	0	5	0	0
4 授業のレベル・進度	29	83	0	1	1	0	13	17	4	18	5	15	4	19	0	9	2	4	0	0	0	0
5 説明の仕方・程度	149	72	0	1	1	1	52	30	11	6	18	18	35	11	8	4	24	1	0	0	0	0
6 声・マイク・話法	6	55	0	0	0	0	1	17	0	3	4	10	0	18	0	4	0	3	0	0	1	0
7 教材・教具・プリント	127	66	0	0	0	0	33	15	3	3	21	13	46	23	7	9	17	3	0	0	0	0
8 板書・スクリーン表示	20	34	0	0	0	0	1	3	3	5	7	6	3	8	5	4	1	8	0	0	0	0
9 学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	112	20	1	0	8	0	45	5	0	0	0	1	57	11	1	2	0	1	0	0	0	0
10 課題の提示・内容・フィードバック	64	62	0	1	0	1	29	34	13	7	4	2	10	7	2	4	6	5	0	0	0	1
11 受講態度の指導	1	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0
12 出席・遅刻の管理	3	22	0	0	0	0	0	2	0	2	2	8	0	8	1	1	0	1	0	0	0	0
13 時間管理・配分	4	24	0	0	0	2	1	4	1	0	0	7	2	8	0	3	0	0	0	0	0	0
14 試験と成績評価	10	17	0	0	0	0	1	0	4	6	5	7	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0
15 教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	127	18	0	1	3	0	52	2	4	2	17	2	26	9	4	0	15	1	4	0	2	1
16 教室・設備・クラス編成	1	29	0	0	0	1	1	5	0	0	0	1	0	20	0	0	0	2	0	0	0	0
17 TA・SA	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 オムニバス・複数教員担当の授業	10	5	1	0	0	0	0	0	2	3	2	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
19 その他	69	31	0	0	6	1	25	9	5	4	7	1	18	8	3	2	4	6	1	0	0	0

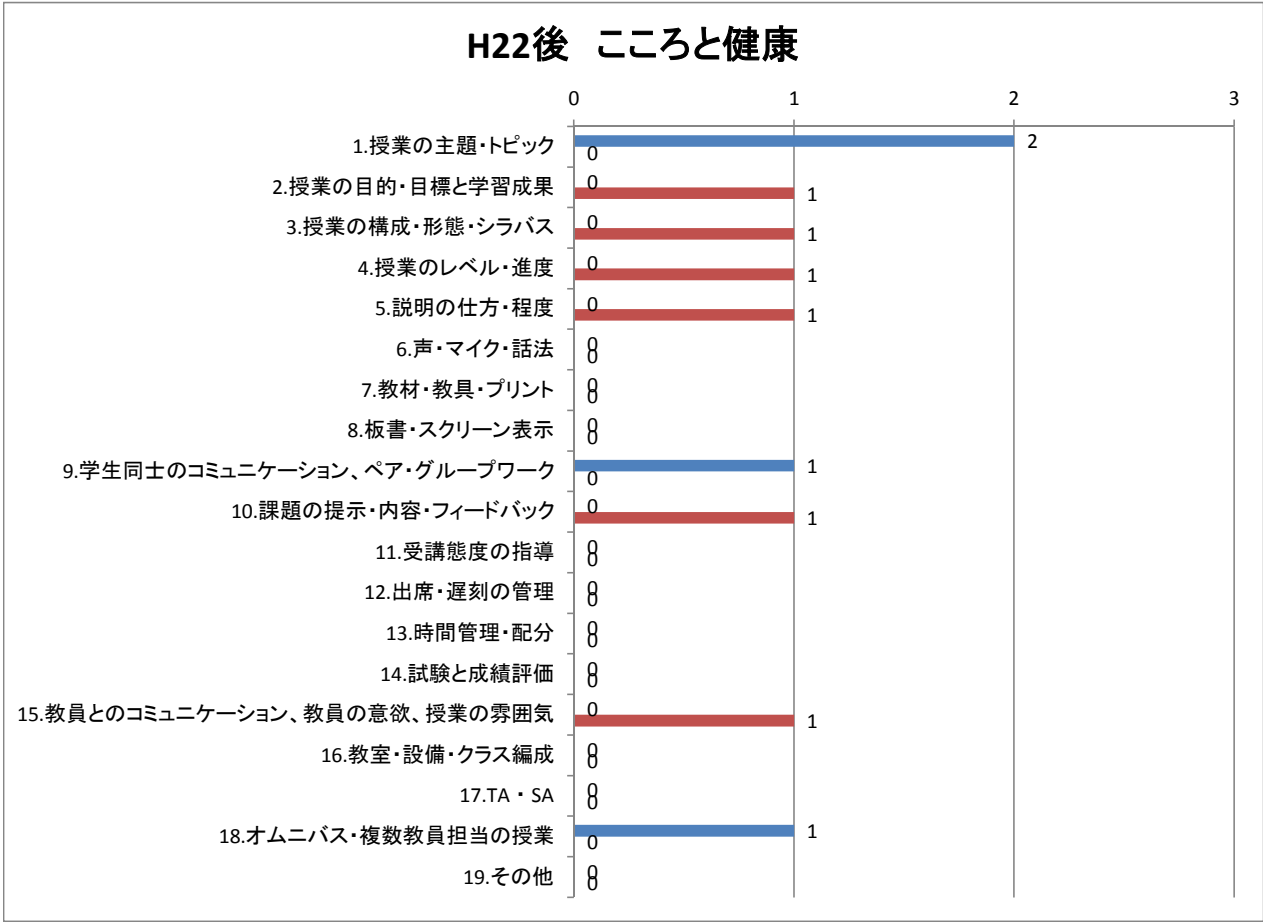
A1 教員の遅刻・休講		4		0		0		0		0		2		0		0		2		0		0
A2 教員の不適切発言・態度		4		0		0		1		2		1		0		0		0		0		0
A3 不正行為への不適切対応		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
A4 その他		2		0		0		0		0		2		0		0		0		0		0

アンケート回答者のいたクラス数	379		4		28		137		50		32		50		28		43		4		3	
アンケート回答者数(自由意見未記載も含む)	4013		57		205		1094		466		544		1027		321		277		19		3	
カテゴリー1～19に該当する自由意見の延べ数	1195	640	4	6	40	8	395	164	71	72	144	105	333	178	57	53	137	47	11	5	3	2
自由意見の○と×のバランス(%)	65%	35%	40%	60%	83%	17%	71%	29%	50%	50%	58%	42%	65%	35%	52%	48%	74%	26%	69%	31%	60%	40%
アンケート回答者1名あたりの自由意見記述率(%)	30%	16%	7%	11%	20%	4%	36%	15%	15%	15%	26%	19%	32%	17%	18%	17%	49%	17%	58%	26%	100%	67%

- 設問12「授業の良い点」
- × 設問13「改善すべき点」

グラフの縦軸はカテゴリー項目
 グラフの横軸は該当意見数
■ 設問12「授業の良い点」
■ 設問13「改善すべき点」





【自由意見の特徴・傾向】

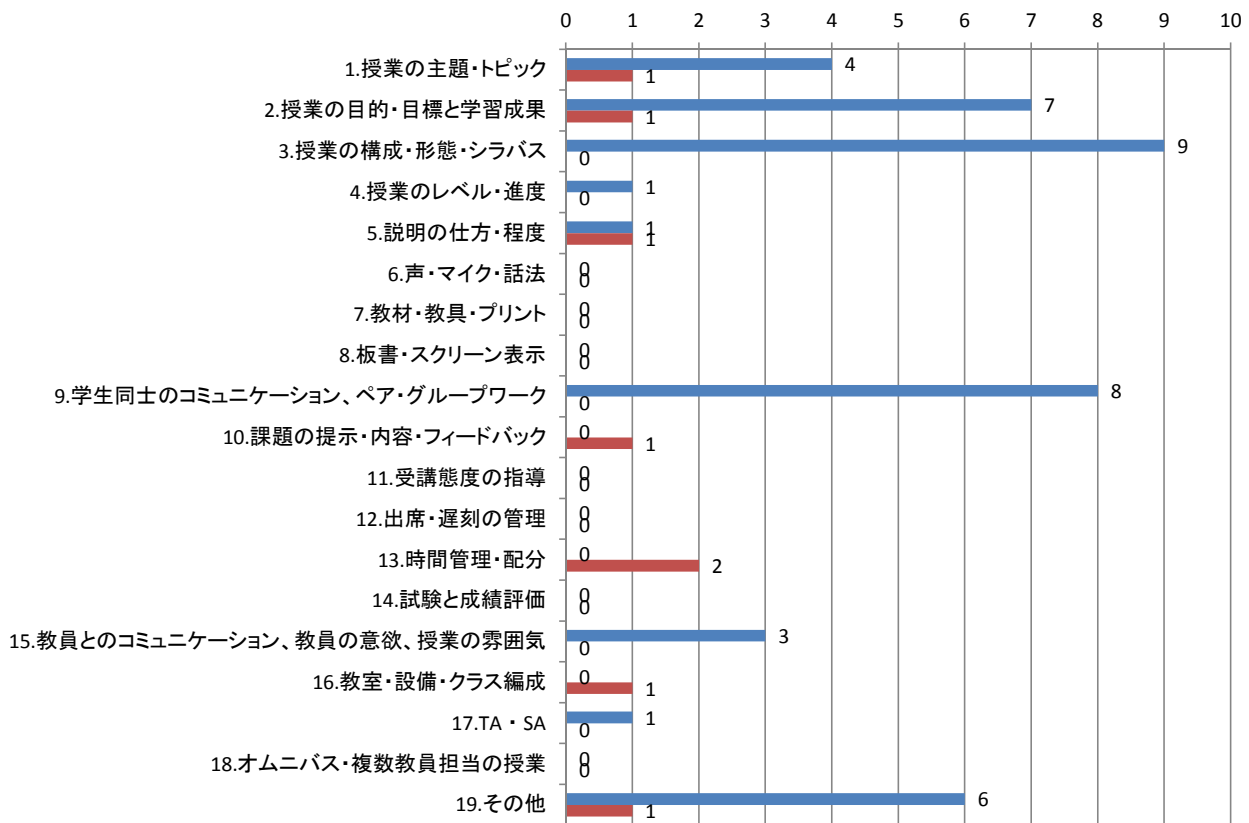
平成22年度前学期と比べて大きく異なる結果となった。前学期は13クラス開講して自由意見は202件寄せられ、そのうち肯定的意見が66%を占めていた。しかし、後学期は4クラス開講して自由意見はたった10件であり、そのうち肯定的意見は40%に留まった。

自由意見の内容は広く分散しており、ポイントの高いカテゴリーは認められないが、前学期に多数見られた「一人暮らしを始める上で有用であった」といった意見がなくなったことが特徴の一つであろう。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
オムニバス形式で先生が変わり、毎回違う先生が授業するのが刺激になってよいと思う。	18.オムニバス・複数 教員担当の授業		
生活面など順調に勉学できるような生活技術を教えていただきました。	1.授業の主題・トピック		
グループワークがあること	9.学生同士のコミュニ ケーション、ペア・ グループワーク		
大学生に必要な知識を学ぶ良い科目である。	1.授業の主題・トピック		

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
もっと詳しく教えていただきたい。	5.説明の仕方・程度		
レポート課題を授業中に出して、授業中に提出しろという回があった。圧倒的に時間が足りず、良いものを作らせようとさせないというように感じた。その教員は授業態度も悪く、また課題の連絡も十分にできていなかった。その回は大変不快な思いをした。もう少し教員を選ぶべきである。	4.授業のレベル・進 度	15.教員とのコミュニ ケーション、教員の 意欲、授業の雰囲気	
何がやりたいのかが学生にまで届いていないし、授業をやる意味が分からない。 もっと意味のある内容を明確に示して欲しい。	2.授業の目的・目標 と学習成果		
食と健康のユニットをもう少し早くやれば食生活の改善が早くできると思う。	3.授業の構成・形 態・シラバス		
宿題が多い。	10.課題の提示・内 容・フィードバック		

H22後 スポーツ科目



【自由意見の特徴・傾向】

初年次科目「スポーツ」16クラスの自由意見を集計した。自由意見48件のうち、83%が肯定的意見であり、平成22年度から導入したE-fitに基づく授業内容が肯定的に受け入れられているように見受けられた。平成22年度前学期と同様のカテゴリーに肯定的意見が集まった。他方、否定的意見は僅かであり、散発的であった。

以下、ポイントの高かったカテゴリーについて、特徴を記す。

○「授業の主題・トピック」

スポーツの各種目、及び普段できないようなスポーツを実施できたことを肯定する意見があった。

○「授業の目的・目標・学習成果」

E-fitに対する肯定的意見が幾つか見られた。また、「その日その日の到達目標に応じた練習方法などが適切に示されていた」といった意見もあった。

○「授業の構成・形態・シラバス」

チームを組んでゲームを行ったこと(チームワーク)、E-fitやトレーニングマシンに触れる肯定的意見が多かった。なお、前学期はこのカテゴリーで24件の否定的意見があったが、後学期は皆無であった。

○「学生同士のコミュニケーション、ペアグループワーク」

身体を動かすことにより、コミュニケーションがとれたという意見が多数あった。

○「教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気」

教員との関係が良好であることや、のびのび学べる点が肯定的に評価されていた。

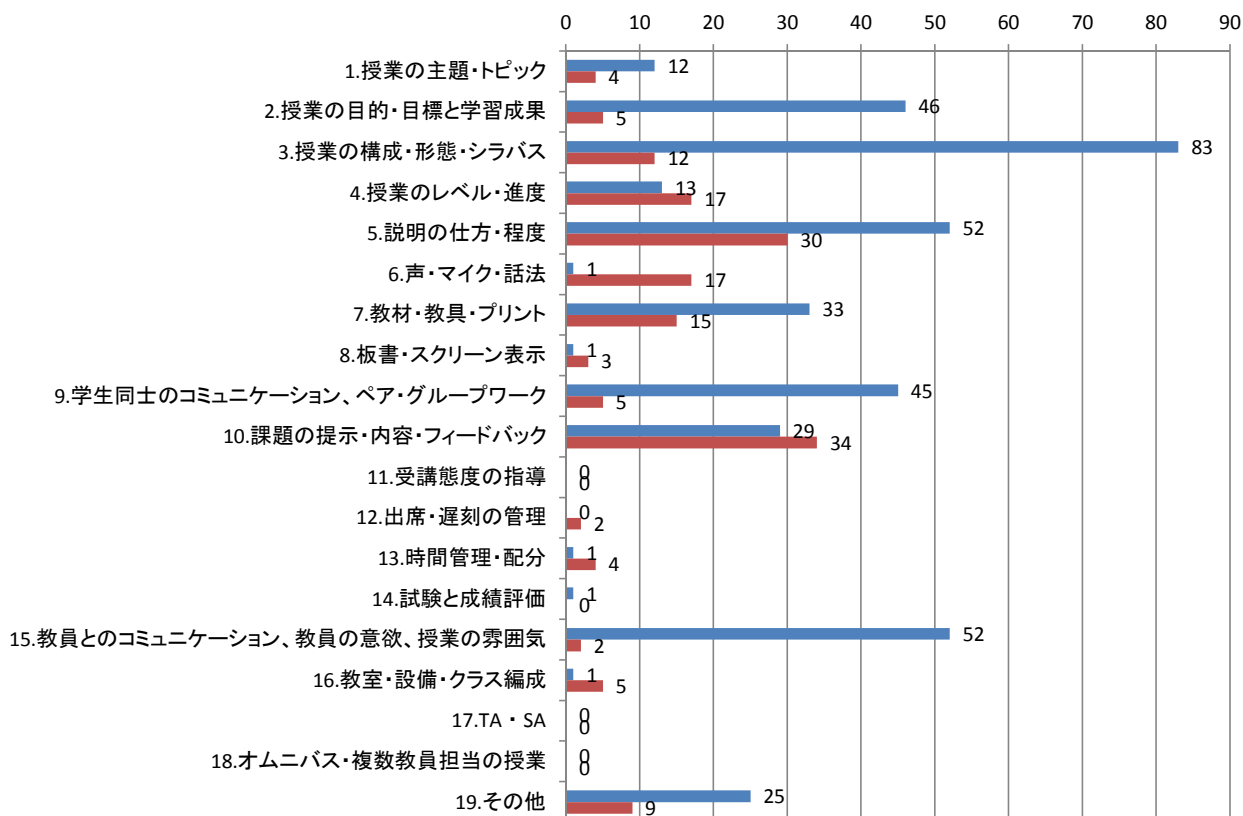
○「その他」

授業が楽しい」といった感想も多く、これらは「その他」のカテゴリーへ分類した。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
最初の3回分ほどの授業を使って、体を動かすゲームのようなことからはじめたので、体を使う楽しさを知ることが出来た。また話したことがなかった人とコミュニケーションをとることが出来た。	3.授業の構成・形態・シラバス	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	
トレーニングマシンを使用した授業も楽しかったです。バドミントンもランダムなペアの決め方により様々な人と交流ができました。	1.授業の主題・トピック	3.授業の構成・形態・シラバス	
ただ動くだけではなく、体のケアについて重点的に教わるのができたのがよかった。	2.授業の目的・目標と学習成果		
エアロビがよい運動になった。ストレッチの方法など今後に生かすことができることを学べた。	2.授業の目的・目標と学習成果		
色々な人とコミュニケーションがとれるチーム編成などがとてもよかったです。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク		
私は運動が苦手でしたが、先生がそれぞれのレベルに合わせて授業をして下さったのでとても楽しく授業を受けることができました。ありがとうございました。	4.授業のレベル・進度		
楽しく授業ができる。	19.その他		

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
選択競技を行う時間を増やしてほしい	13.時間管理・配分		
授業のコマを増やしてほしいです	13.時間管理・配分		
プレーによって説明に偏りがあり、うまくできるようになったプレーと、そうではないプレーとにバラつきが出たこと。	2.授業の目的・目標と学習成果		
レポート課題の説明が不足していたので分かりにくかった。授業内でもっと説明をしてほしかった。	10.課題の提示・内容・フィードバック		
種目がもうすこし選べたらいいと思う	1.授業の主題・トピック		

H22後 英語



【自由意見の特徴・傾向】

基礎科目に属する「総合英語A, B」91クラスと発展科目に属する英語科目11クラスをまとめて集計した。平成22年度前学期と同様の、以下の傾向が認められた。

自由意見の殆どは基礎科目についてのものである。特徴としては、アンケート回答者が自由意見を記述する割合が高いこと(51%)、その意見の71%が「授業の良い点」であることが挙げられる。回答数の多さの理由として、基礎科目の英語は全学向けの必修科目であり、またPCを活用する授業形態が多く、アンケートへの回答が比較的容易であったことが要因として考えられる。一方で、回答の大半が肯定的意見であり、特に教員の姿勢や授業の雰囲気に好意的な回答が少なからず見受けられることから、自由意見を書くことへのモチベーションが良い意味で高まった授業が多かったのではないかと推測される。

以下、ポイントの高かったカテゴリーについて、特徴を記す。

○「授業の目的・目標と学習成果」

スピーキング・リスニングの力や基本的な知識が身につけてきているという意見が多数あった。

○「授業の構成・形態・シラバス」

音読が多いこと、授業を英語だけを用いて実施することや、ゲーム性を取り入れて学習へのモチベーションを高めた授業形態が強く支持された。

○「説明の仕方・程度」

ゆっくり何度も、丁寧に説明してくれる、といった肯定的意見が多かった。一方、教員が意見を押しつけすぎているといった否定的意見もあった。

○「教具・教材・プリント」

自作プリントやPCの活用について、肯定的意見が多かった。

○「学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク」

授業中に学生同士でコミュニケーションを取れることが強く支持された。

○「課題の提示・内容・フィードバック」

小テストや課題が課されることは肯定的に受け入れられていた。他方、課題の内容が明確でない、解答が知らされない、などの否定的意見もみられた。

○「教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気」

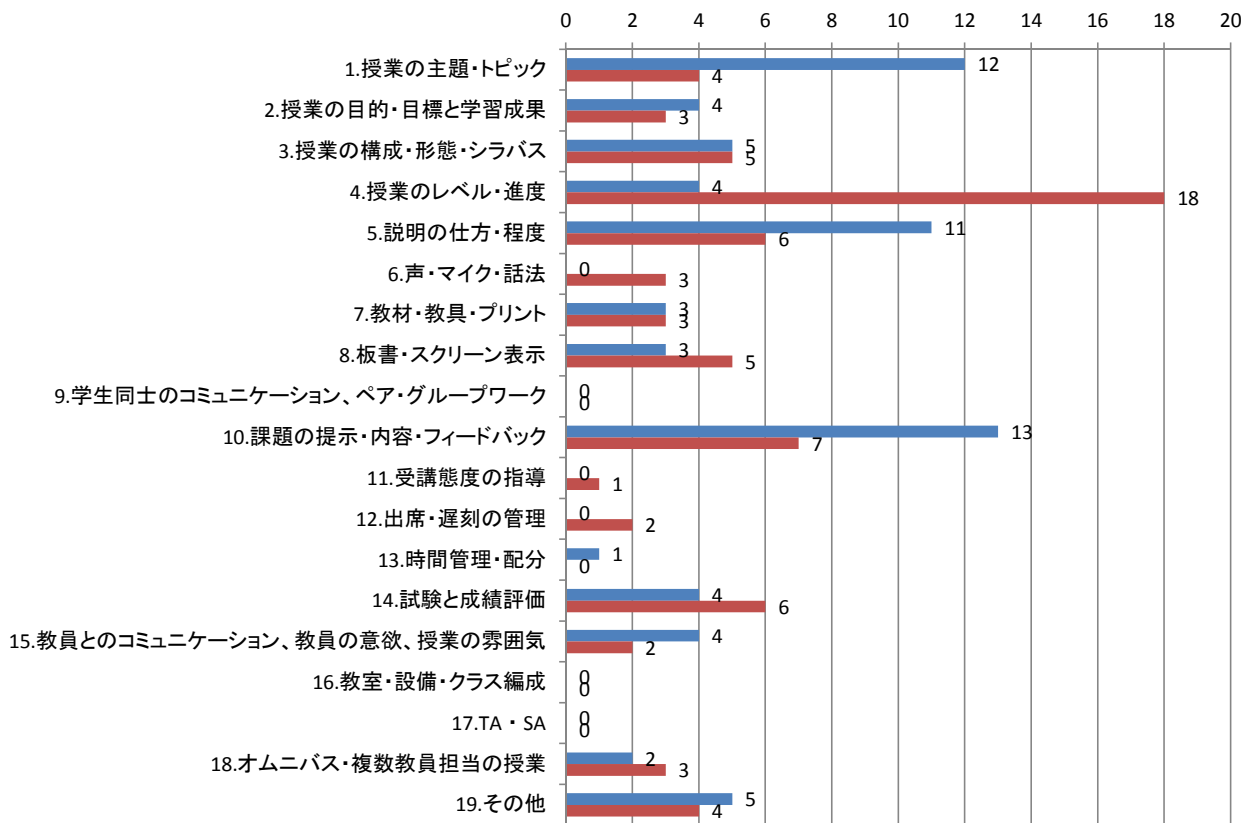
科目の性質上、教員は学生とコミュニケーションを積極的にとる必要があったと思われるが、このことは授業の好感度や教員の意欲を感じさせることにもつながり、その方法も含めて学生に強く支持された。

なお、「授業が楽しい」といった感想も多く、これらは「その他」のカテゴリーへ分類した。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
先生が(おそらく)自分で作ったプリントを頻繁に配布しており、熱意を感じる。自分で長文を考えて書くというような作業のときは、生徒一人一人のところを回ってアドバイスしてくれる。そのおかげで自分には難しく感じるこの作業も、だいぶ取り組みやすいものとなった。質問をするとき英語でうまく伝えることができなかつたりしても、内容を理解して、こちらがわかるように丁寧に説明してくれる。	7.教材・教具・プリント	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	5.説明の仕方・程度
音読が多かったこと。他人とコミュニケーションが取れること。毎回小テストがあること。	3.授業の構成・形態・シラバス	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	10.課題の提示・内容・フィードバック
授業内容にゲームを取り入れることが多く、楽しく英語を学ぶことができ、また、周りの人と仲良くなる機会ができてよかったと思う。	3.授業の構成・形態・シラバス	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	
先生はすべて英語で喋られるので、聞き取るスキルが上がった。	3.授業の構成・形態・シラバス	2.授業の目的・目標と学習成果	
英語で話してもらえるので英語に触れる機会が多くもてる。盛り上げようと笑いも取り入れてくれるので、難しくても話を聞こうという気にしてくれる。	3.授業の構成・形態・シラバス	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	
ゆっくり何度も説明を繰り返してもらえるのでしっかり確実に理解することができたのがよかった。 基本的な知識を身につけることができたのでよかった。	5.説明の仕方・程度	2.授業の目的・目標と学習成果	
楽しく受けられる。	19.その他		

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
問題の回答がないことが多い。 先生が意見を押し付けすぎている。	10.課題の提示・内容・フィードバック	5.説明の仕方・程度	
少し早口で聞き取りが難しい点。	6.声・マイク・話法		
英語Bは比較的学力の乏しい学生が履修する科目なので、もう少し難易度を低くしてもよかったと思う。 英語A(全員履修)よりも難易度が高く感じ、英語の苦手な人にしてみれば、どうしてもモチベーションが上がらなかった。	4.授業のレベル・進度		
たまにどこが宿題なのか分からなくなるので、授業の最後に宿題の範囲を板書して頂けたら嬉しいです(板書してくれる時もあるのですが)。	10.課題の提示・内容・フィードバック		
修学支援システムを通さずに補講をしたとき、本当に補講があるのかどうかわからなかったこと。	19.その他		

H22後 理系基礎科目



【自由意見の特徴・傾向】

基礎科目に属する「理系基礎科目」39クラスをまとめて集計した。授業のレベル・進度の項目に、改善すべきという意見が集中した。

全体的にみて、これらの理系基礎科目は必修科目であることが多いためか、課題などを課されても学生はあまり違和感を感じておらず、前向きに学習する姿勢がうかがえる。そのため、むしろ課題が無いと不安を感じているようだし、解答・解説が不十分だと多くのクレームが寄せられている。また、「説明の仕方・程度」や「試験と成績評価」についても、比較的否定的な意見が多い。

以下、ポイントの高かったカテゴリーについて、特徴を記す。

○「授業の主題・トピック」

日常生活との関わりの説明がある授業、学生の意見を取り入れて進める授業について肯定的な意見がみられた。。他方、化学と生物学の授業では、一部に専門的すぎるという意見がみられた。

○「授業のレベル・進度」

課題の添削をしてほしいという要望、説明が不十分、ステップアップしていける講義になっていない、などの意見がみられた。

○「説明の仕方・程度」

解説の詳しい授業、質問への解答が丁寧な授業は評価が高いようである。

○「課題の提示・内容・フィードバック」

小テストや課題・宿題を課されるのに、学生はあまり違和感を感じておらず、前向きに学習する姿勢がうかがえる。必要な授業時間外学習を行っていることがうかがえる。逆に、改善すべき点として、課題が少ないことに対する不満がみられた。ただし、出された課題に対する教員の解答・解説が不十分な場合には、不評であった。

○「試験と成績評価」

成績評価について、シラバスの表記を守ってほしいという意見があった。

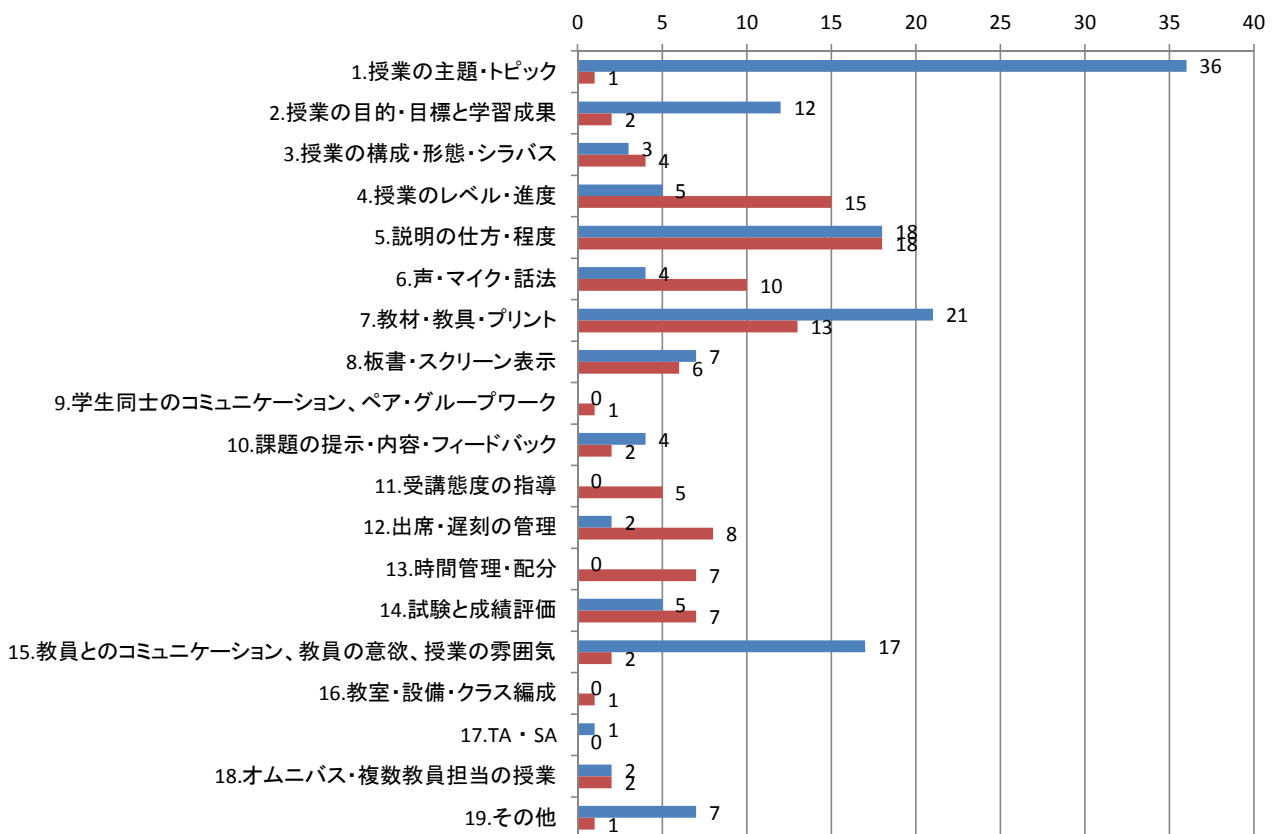
○「板書・スクリーン表示」

板書のスピードが速すぎる、書き方にまとまりがない、などの意見があった。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
毎回宿題が出て、大切なポイントが分かる。	10.課題の提示・内容・フィードバック		
身近なこと(三毛猫など)わかりやすい題材だったこと。	1.授業の主題・トピック		
問題演習を多くしてくれるので理解がしやすいです。授業レポートと宿題の体系が適切なので、休まずに出席しようという気になります。時々言うギャグも僕らを和ませてくれます。	10.課題の提示・内容・フィードバック	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	
高校数学からの丁寧な移行となる説明だったので、無事に習得できた。	4.授業のレベル・進度		
小テストと課題の解答をネットで見るのがいいと思います。	10.課題の提示・内容・フィードバック		
重要な所を反復して教えてくれる	5.説明の仕方・程度		
学生の意見を取り入れる授業で、学習内容に興味を持ちました。学生の勉強の速さを考えて下さっていました。来週の小テストの範囲をしっかりと伝えて下さっていました。	1.授業の主題・トピック	4.授業のレベル・進度	10.課題の提示・内容・フィードバック

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
板書の書くスピードが速すぎる字が小さくてなおかつきたないの でわかりにくい。	8.板書・スクリーン表示		
オムニバス形式の授業になっていたが、先生たちの間で連携がとれてなく、内容につながりがなかったり、穴ができていたりした。また、生物なのに化学や自分の研究内容だけを話すなど、本当の生物の講義は一度もなかった気がする。	18.オムニバス・複数教員担当の授業		
提出した宿題の添削をしてほしい。 解いた問題があっているかわからない	10.課題の提示・内容・フィードバック		
共通教育なのに、生物学科の学生にとっても専門的な授業になっていた。たぶん、生物習ってない学生にとっては意味の分からない授業である。もっと、遺伝について基礎を授業で言わないと、せっかく生物を学びたいと思った学生にとっても為にならない。	4.授業のレベル・進度		
一方では高校の範囲を越えず、また一方では1回生の知識では解けないようなことをやり、ステップアップで習得できる講義になっていなかった。 点数は取ったがあまり成長した実感が無い。 あと、誰も言わなかったのかもしれないが、偏微分は「履修中」、gradなどベクトル解析(外積も)については「一切やっていない」ので、隣の科目等をもっと把握して調整すべきである。	4.授業のレベル・進度	2.授業の目的・目標と学習成果	19.その他

H22後 教養コア科目



【自由意見の特徴・傾向】

グラフからも分かるように、“授業の良い点”とする肯定的なコメントが多かったのは「授業の主題・トピック」や「教材・教具・プリント」であり、“授業の改善すべき点”とする否定的なコメントが多かったのが「説明の仕方・程度」と「授業のレベル・進度」である。ただ、「説明の仕方・程度」については、肯定的意見も同数となっている。

ただし、これが教養コア科目の特徴、ではなく、教養科目全般に同様の傾向が見られる。教養科目同士で比べた時にはコア科目の特徴としては、「学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク」に関するコメントが少ないと言うことが挙げられる。これは平成22年度前期のアンケートでも同様(肯定的コメントも否定的コメントもともにゼロであった)である。偶然であるのかも知れないが、取り扱うテーマが、そのような傾向を生んでいるのであろうか。

以下、コメント数の多かったカテゴリーについて、特徴的な意見の一部を紹介しながら簡単な分析やコメントをする。

○「授業の主題・トピック」

全体的に肯定的コメントが大半である。身近な問題について考えることができた、あるいは幅広い角度から学ぶことができた、など、地域、生命、環境という、生活に関係するあるいは話題になることが多いテーマを扱っていることが、肯定的なコメントとして現れているのであろう。

○「教材・教具・プリント」

『地域と世界』をはじめとして、写真やビデオを多く使用していたことが、肯定的なコメントにつながっているようである。この部分も扱うテーマが関係するのかも知れない。『科学リテラシー』では動画を使った実験操作、ということの評価するコメントも見られた。また、資料をたくさん用意していたことが良い評価につながっているという事例も見られる。

○「授業のレベル・進度」

授業のレベルに関しては、教養コア科目に限らず多く見られる、そして否定的コメントの多い項目で、内容が専門的過ぎるということに代表される。今回は“文系にとっては”という表現と“理系の私には”という両者が見られた。また配付資料に関しても専門的に書いてあり内容を理解するのが難しい、というコメントが寄せられている。コメントの総数は多いが、1つの授業に対して同じようなコメントが複数出されているためでもあり、コア科目全体の問題とは言えないかも知れないが、少なくとも配布資料については、その分野の知識をあまり持っていない学生を想定して作成することが必要であろう。

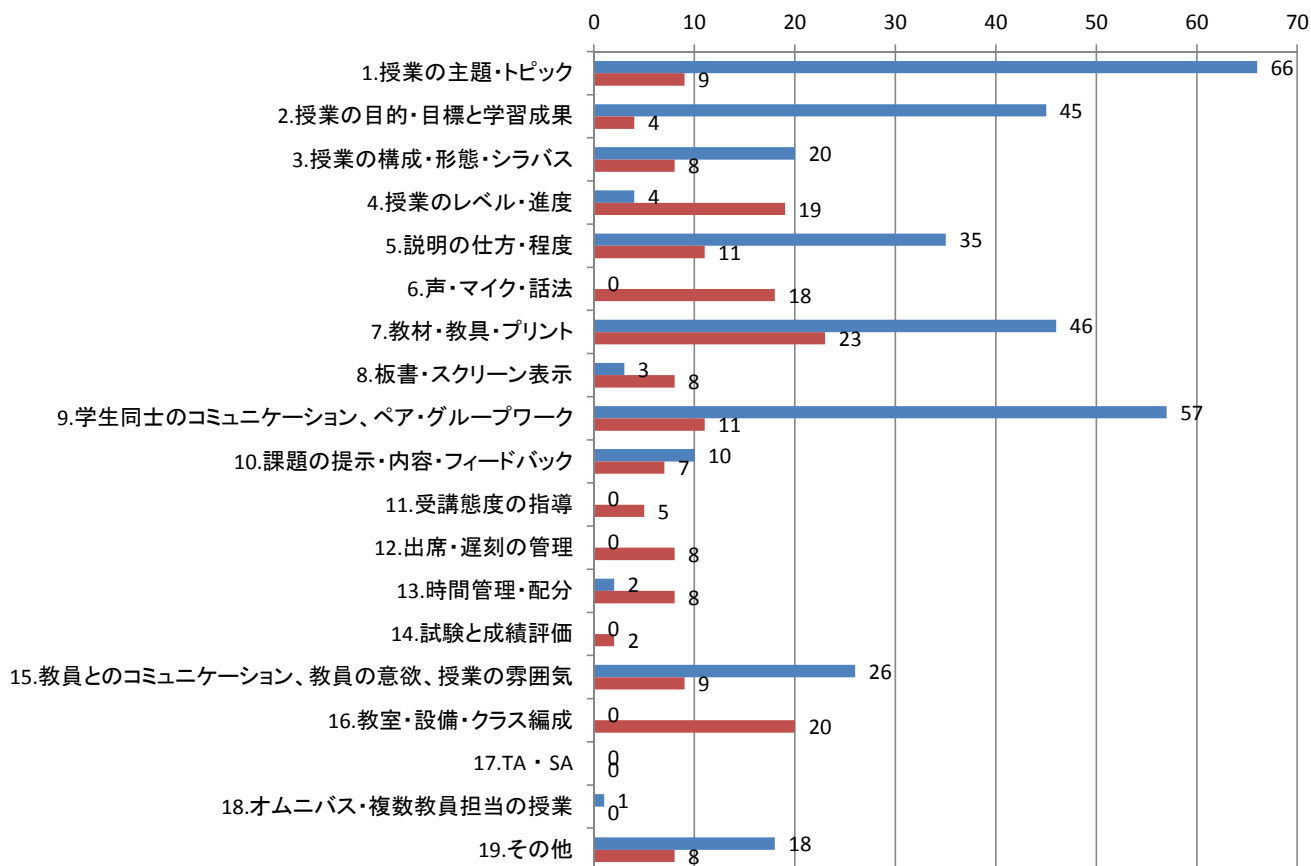
○「説明の仕方・程度」

語句の説明ではなく仕組みを中心の説明であったため文系の学生にも分かりやすかった、要点がまとまっていて分かりやすかった、など、説明の工夫によっては“文系、理系”による拒否反応が出ない科目も存在する。一方で、気分転換として取り入れている面があるだろうが、話の脱線が多すぎる、どこからが授業でどこからが雑談か分からない、というものや、授業が平坦すぎる、といったコメントも幾つか見られ、適度にメリハリをつけることの重要性も指摘されている。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
身近な問題(松山市の水問題)について考えられるところ。	授業の主題・トピック		
幅広い角度から生物学について学ぶことができる	授業の主題・トピック		
写真などをたくさん見せてくれたので、分かりやすかった。	教材・教具・プリント		
ビデオなどの資料が的確で、授業の理解に役立っていたこと。やや個人的ではあるが、扱っていた内容が大変興味深いものだったこと。	教材・教具・プリント	授業の主題・トピック	
語句の理解ではなく、おもに仕組みの理解を中心に授業がされており文系の私にもわかりやすかった。	説明の仕方・程度		
理系の科目で理系の先生なのでどんな難解なことを言われるかと思っただが、解りやすく噛み砕いて説明してくれて良かった。	説明の仕方・程度		
スライドも分かりやすく。文系にも配慮された共通教育として素晴らしかった。理系分野であり、少し抵抗があったが、社会は理系文系とわけられない様々な側面があるため、このような授業は必要となると思うので、ためになる授業であった。試験も適切だと思う。	教材・教具・プリント	授業のレベル・進度	試験と成績評価

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
まず、呂律が回ってないので聞き取りにくい。授業内容もあまり前後との関連性に理解しがたい内容だった。内容が専門的すぎて理系の私には理解できない。	声・マイク・話法	授業のレベル・進度	
内容が専門的で、文系にとっては少し難しかったです。	授業のレベル・進度		
講義内容が専門的についていけなかった。配布資料も専門的で書いてある内容を理解するのが難しいと感じた。もっと分かりやすい資料配布をしてほしい。	授業のレベル・進度		
どこからが授業で、どこからが雑談かが分からない。	説明の仕方・程度		
椅子探しゲームなどの、講義内容を理解するための例がふさわしくないと考えます。毎回、講義の要点がつかめにくいです。	説明の仕方・程度		
グループでのレポートの提出をやめて欲しい。実験はグループでやることで、協力する力が付き、大変良いと思う。しかし、レポートまでグループでやらなければならないと、集まらなければならないし、時間ももったいない。また、当たり前のようにやってこない人が出て来、とても効率が悪く感じた。様々な個性の人と協力し高め合うことができればよかったのだが、それぞれのメンバーが忙しい中で、それをこなすのは難しかった。	課題の提示・内容・フィードバック	学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	

H22後 文系主題科目



【自由意見の特徴・傾向】

教養科目の文系の主題科目に属する、「人間と文化」および「生活と制度」50クラスをまとめて集計した。「授業の良い点」の記述が333件(65%)、「改善すべき点」の記述が178件(35%)であった。全体的にみて、この文系主題科目では肯定的なコメントが多かった。

教員の努力により、様々な工夫が行われているのがうかがえた。学生が興味をもつ主題を設定した授業は好評であった。ペア・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた授業では教材などを工夫して実施されていて、学生から好評な授業が多く見られた。

以下に記述が多かったカテゴリーについて、多い順に、この文系主題科目の特徴を記す。

○「授業の主題・トピック」(肯定66件・否定9件)

この文系主題科目では、このカテゴリーに属する記述が最も多く、学生は好意的に捉えていた。これらの科目の担当教員は、学生が興味を持つ主題を良く設定していることがうかがえた。

○「学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク」(肯定57件・否定11件)

この文系主題科目の特徴として、このカテゴリーに属する記述が他の科目と比較して最も多く、学生はアクティブ・ラーニングを好意的に捉えていることがうかがえた。

○「教材・教具・プリント」(肯定46件・否定23件)

ビデオなどの映像教材、画像教材、配布資料などを使用した授業は、学生からは概ね好評であった。特に教員撮影のVTR資料などに学生が過敏に興味を持っているのがうかがえた。教員の手作り感のある教材は、教育効果が高いことがうかがえた。また、振り返りシートなどを効果的に使用している授業に対して、学生は好意的にとらえていた。

一方、教材が多すぎてどれが重要なかわからなかったなどのコメントもあった。

○「授業の目的・目標と学習成果」(肯定45件・否定4件)

専門の授業では学習出来ない、就職する際に役立つような分野の知識や学習方法を修得することができて良かったとするコメントが多く見られた。また、専門教育でも役立つ基礎知識を身につけることができたとするコメントも見られた。更に、コミュニケーション力が身に付いたとするコメントも多く見られた。

○「教室・設備・クラス編成」(肯定0件・否定20件)

ディスカッションや発表会などを取り入れた授業では、もっと少ないクラス人数での授業を希望するコメントがあった。また、スクリーンが見にくいことや教室の大きさ、マイク設備、エアコンなどに対するクレームがあった。

○「授業のレベル・進度」(肯定4件・否定19件)

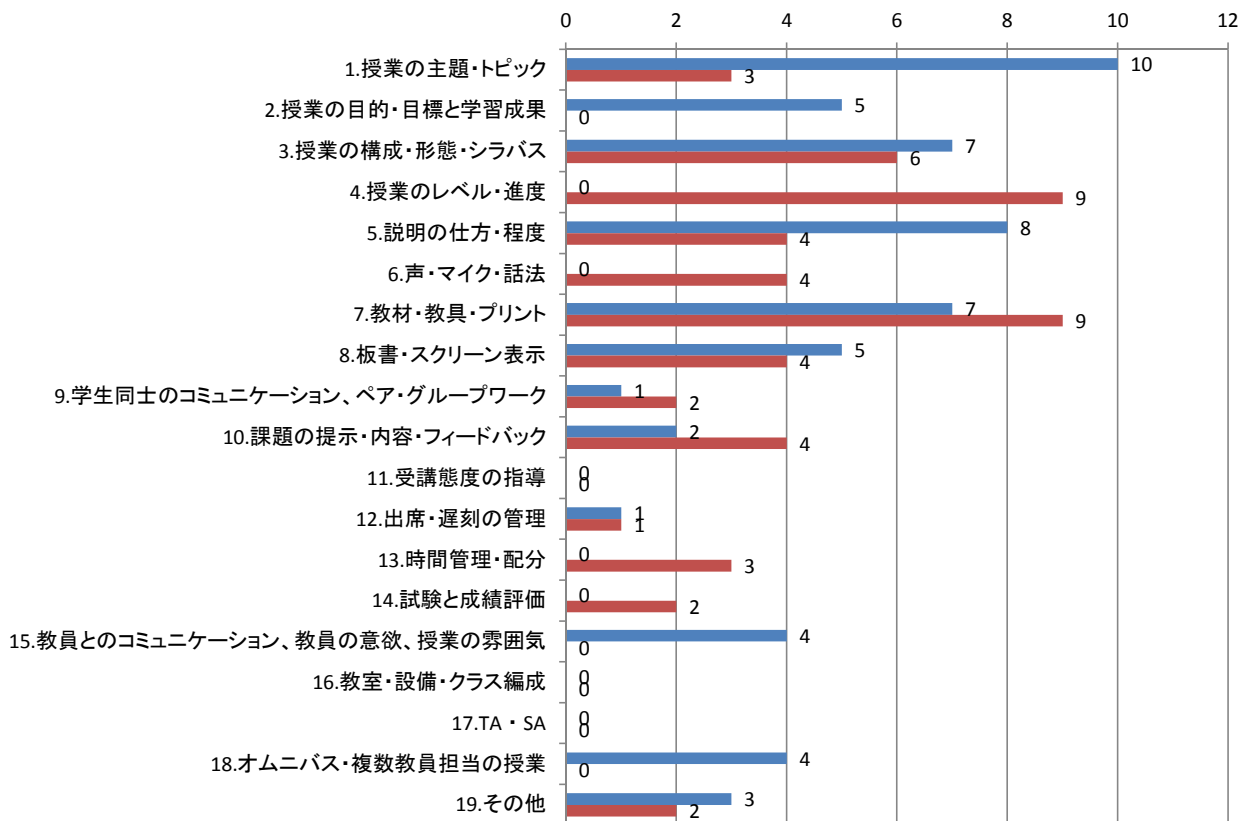
高校までの履修状況と授業のレベルが不一致であるとのコメントがあった。また、英語の聞き取りや音楽の技能などで授業についていけないというコメントがあった。更に、スライドのテンポが速すぎてついていけなかったなどのコメントもあった。

また逆に、もう少し深い内容まで学びたかったというコメントもあった。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
・古代史、とりわけ伊予の古代史に焦点を当てていて、自分は今、愛媛県の大学で学んでいるんだなあ、と改めて感じる事ができた。自分は県外出身のため、伊予の歴史は全く知らなかったが、想像していたよりも歴史があり驚いた。知ることができて良かったと思う。レジュメも充実していて、この授業が終わった後も読みたいと思う。	1.授業の主題・トピック	7.教材・教具・プリント	
・理系の学生は企業や企業倫理について触れる機会がほとんど無い。そのため多くの学生が客観的に企業や企業倫理について考える前に社会人となると考えられる。 ・本授業では、社会人としてではなく学生の視点から企業倫理について考えることができるため、社会に対する視野が広がった。	1.授業の主題・トピック	2.授業の目的・目標と学習成果	
・教室内で行う講義以外にも、個人でガソリンの価格について調査したりグループを作って課題を見つけ調査したり、経済のことについて多様な角度から考え学ぶことができ非常に楽しかったです。	1.授業の主題・トピック	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	
・討論を設けることにより、必然的に集中しなければならなくなる。また、優しい、語りかけるような口調はとても好感が持てた。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	
・グループワークを行うことで他者の考えを共有できた。 ・各国の歴史教科書を閲覧することで多角的に判断できた。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	7.教材・教具・プリント	
・グループワークが多く課題に取り組みやすかった。経済の仕組みがビデオなどを参考にしつつ理解しやすかった。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	7.教材・教具・プリント	
・大学生が本来必要とする、新しく出会った人との円滑なコミュニケーション力を鍛えることができ、初対面でも慣れることができた。	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	2.授業の目的・目標と学習成果	
・資料の量も内容も適切であった。グループワークを取り入れたことで理解が深まった。	7.教材・教具・プリント	9.学生同士のコミュニケーション、ペア・グループワーク	
・映像や画像を適切に授業に取り入れていました	7.教材・教具・プリント		
・先生のVTR資料によってよく分からなかった中国を一部でも見ることで想像できるようになった点。	7.教材・教具・プリント		
・振り返りワークシートがある	7.教材・教具・プリント		
・授業の回を重ねるごとに、よくわからなかった民法の基本的なことが分かってくるようになったし、どう勉強していけばよいのかなどの方法も示してくれたので、民法の学習に対する意欲がかなり大きくなったと思います。	2.授業の目的・目標と学習成果	3.授業の構成・形態・シラバス	1.授業の主題・トピック
・授業の前の質問に対する回答が素晴らしかったです。何度も読んでいただき感謝に堪えません。 ・雑談もよかったです。	10.課題の提示・内容・フィードバック	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	1.授業の主題・トピック

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
・プリントの量が多すぎて頭の中で整理しきれない。もう少し抜粋して分かりやすくした方が学びやすい。	7.教材・教具・プリント		
・スライドに書いてあることが膨大すぎて、分かりづらく、要点を捉えづらかったように思う。また、何を書いてよいかいまいち分からず、板書もしづらかった。	7.教材・教具・プリント	8.板書・スクリーン表示	
・スライドのテンポが速くノートを取るのが大変でした。レジュメを配布するか、ネットで閲覧できるようにしていただけるととても助かります。	4.授業のレベル・進度	7.教材・教具・プリント	
・共通教育なのに内容が少し難しすぎた。試験もかなり難しかった。専門教科以上にこの授業のテスト勉強は時間をかけた。法学部の人にとっての基本と法律に関して何も知識のない教育学部の人にとっての基本は違うと思うので、もう少しわかりやすい内容にしてほしい。	4.授業のレベル・進度	1.授業の主題・トピック	
・もう少し、人の数を減らして授業を実施してほしい。深い論議ができたのかとも思います。	16.教室・設備・クラス編成		
・授業の速度が速い。パワーポイントと先生の説明が同時進行で、ノートをとる暇がない。	4.授業のレベル・進度		
・世界史を高校でとっていないと少し分かりにくいと文系でも感じる事があったので、理系は尚更そう感じた人がいたかもしれません。	4.授業のレベル・進度		
・英語が話せない、聞き取れないと授業についていけない。	4.授業のレベル・進度		
・もう少し深い内容まで学びたかったです。	4.授業のレベル・進度		

H22後 理系主題科目



【自由意見の特徴・傾向】

理系主題科目として、「現代と科学技術」「情報と現代社会」「物質の世界」「自然の法則」「生命の不思議」「数理と論理の世界」について集計した。「授業の良い点」の記述が57件(52%)、「改善すべき点」の記述が53件(48%)であった。全体的にみると、「良い点」では、授業の主題・トピック、授業の構成・形態・シラバス、説明の仕方、教員とのコミュニケーション、雰囲気に関連する指摘が多く、学生に興味を持たせるために、多くの先生方が演示実験を取り入れたり、標本や実物を持ち込むなどを実行したり、学生間での議論を行い、理解を深める工夫を行うなど、非常に努力されていることを学生はよく見ていることが分かる。一方、「改善点」では、授業レベル、教材、教材等、に関する指摘が前期に比較し増加している。教科書を買わせておきながら活用しない講義に対する批判もあった。また、時間配分および試験と成績に関する指摘も多かった。

以下にいくつかの特徴的なカテゴリーについて説明をする。

【授業の主題・トピック】

多くの学生が、講義の内容に興味を持つとともに、新しい知識や視点、技能を習得することを楽しんでいることが分かる。一方、講義題目と実際の講義内容とが一致しない場合に、学生は改善すべきと指摘している。

【授業の構成・形態・シラバス】

良い点と改善すべき点とがほぼ同数である。良い点として指摘されているのは、講義に実験や実習を取り入れる等、単調な講義にならないよう工夫した講義である。改善点とし指摘されている講義は、ほとんどがシラバスと内容が異なっているとの指摘である。シラバスが学生の学習に役立っていることを示しているとともに、教員はシラバスを丁寧に作成することが必要であることを示している。

【授業のレベル・進度】

この項目の特徴は、改善を求める意見のみであることである。意見の中で多いのが、「内容が難しい」「進度が早い」の類である。これはともに講義内容が理解できないことを示している。さらに「文系にも理解できるように」という指摘もあった。

【オムニバス形式】

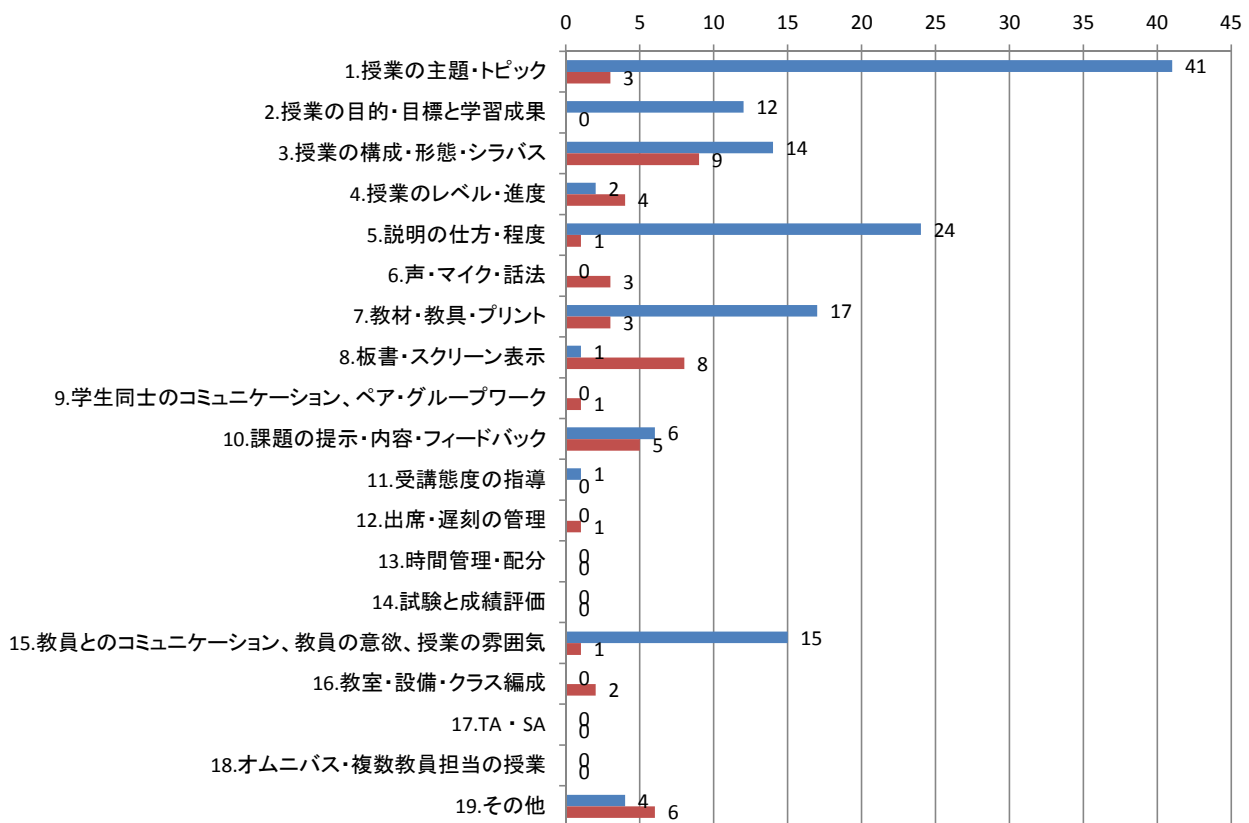
前期の調査と同様に、後期でもオムニバス形式の講義については、改善を求める意見はなく、比較的好評であったようである。

以上、学生からの意見をまとめてみると、単調な講義のみの授業から、実験や実習を取り入れたり、講義のテーマ

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
専門科目の補助として、原点に振り返った授業はわかりやすかった。	1.授業の主題・トピック		
講義に実演や実物などを取り入れていて、とても興味深かったです。	3.授業の構成・形態・シラバス		
理論と実践があるので、難しい内容でもわかりやすく、興味を持って授業を受けられます。先生が学生のために授業をしてくださっているのがよく分かるので、この授業を受けて本当に良かったと思います。	3.授業の構成・形態・シラバス	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	
文系に数学は不要との話がありますがまったくおかしいと思っていましたので、非常に楽しい授業でした。現在の画像を拡大や雑音処理など、普通では学べません。今後も、絶対に続けて欲しい授業です。	1.授業の主題・トピック	7.教材・教具・プリント	
受動的に先生の講義を聞くのではなく、積極的に授業に参加する形式のもので、とても新鮮で興味深かったです。物理学の枠にとらわれず、自然の法則について多角的な視点で語って下さり、毎回とても有意義な講義を受けることができました。最後の講義は三人だけでしたが、これからサイエンスの世界で生きていく私たちに役立つ良書を紹介して下さいなど、15回全て出席して本当に良かったと思える授業でした。	3.授業の構成・形態・シラバス	5.説明の仕方・程度	2.授業の目的・目標と学習成果
動物にはもともと興味はありましたが、分類学や各属など詳しいことを知ることができて有意義でした。文章を書くことも良い機会でした。一生懸命書いていたおかげか、選ばれたりして自分の中でもやって良かったと思えました。	1.授業の主題・トピック	10.課題の提示・内容・フィードバック	
身の回りのものを数学的に解析するおもしろさがあった。新しい発見がたくさんあった。	1.授業の主題・トピック		

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
授業に関係のない話が長すぎるために予定してあったプリントが終わらないなど話の脱線が気になった。 また、出席の紙を回すのが遅く次の授業に急いでいるのにすぐに動けないという時が数回あった。 宿題として提出した問題の答えも授業でやらないというのが不満に感じた。	13.時間管理・配分	10.課題の提示・内容・フィードバック	
シラバスと全く違う授業内容であった。教員の教え方が適当過ぎる。後半の4回は授業は行っていないに等しいものだった。 内容が難しいとかそういう話ではない。教員が適当なのである。テストなんかは最初は持ち込み可能とおきながら撤回してきたため全員が戸惑っている。ただちにこの授業の改善を求む	3.授業の構成・形態・シラバス	14.試験と成績評価	
教科書を買わせた意味が良く分からない。使わないのなら買わないで欲しい。授業も早口で何を言っているか分からなかったりして不満だった。	7.教材・教具・プリント	6.声・マイク・話法	
先生の日本語がおかしいと感じた。教えていることが間違っている所があった。あれではテストをしてもいい点が取れないと思う。間違った内容で覚えて、テストを受ければ話は別だ。授業の内容を考え直して欲しい。	5.説明の仕方・程度	1.授業の主題・トピック	
難しいと思われる内容に対する説明が雑。 問題設定が分かりにくい。 テスト内容発表からテスト当日まで質問を受け付けてもらえないのは、わからない内容の確認・学習ができないのでかなり困る。 授業がまとまっておらず、ほぼ毎週次回繰り返し越しになるので、振り返りに時間もかかり効率が悪いと思う。 シラバスと全然違う。	5.説明の仕方・程度	14.試験と成績評価	13.時間管理・配分

H22後 初めての外国語



【自由意見の特徴・傾向】

「初めての外国語」には、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「朝鮮語」「フィリピン語」の5カ国語がある。それぞれの開講クラス数および受講生数には、かなりばらつきがある。自由意見を見る限り、それぞれの言語のもつ性格の違いよりも、担当教員の個性の違いの方が、学生の意見に反映しているようである。

○授業構成・形態・シラバス

外国語の入門クラスの特徴として、発音や文法に関する授業内容と、また質問やネイティブとの会話等を取り入れたコミュニケーション形式の授業について、肯定的な評価が多く認められた。また、「授業の主題・トピック」と重複するが、外国語学習と、外国の案学や映像等を学習とうまく融合させている授業構成にも、学生にとって新鮮であり、肯定的な評価であった。

○説明の仕方・程度

説明文法や単語の説明が体系化されていて理解しやすい、またテキストやプリントも初修者向けに理解しやすいものを選定している点や、教授する教員の丁寧で分かりやすい授業に対して、肯定的評価が多く認められた。

○授業の主題・トピック

映画等のビデオ教材や、歌を聴かせるなど、生の外国文化に触れさせる試みに対して、肯定的な評価が多く見られた。多くの教員が、外国語学習とその言語の基盤となっている外国文化の学習を融合させて、学生の学習意欲を持つように工夫している点が多くあった。

○教材・教具・プリント

「授業の主題・トピック」でも紹介したが、映像や音楽教材の効果的活用に、肯定的評価が多く認められた。

○教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気

学生が発言しやすいクラスの雰囲気づくりや、先生自身の授業に対する姿勢に学生が親近感を感じており、授業の進め方や丁寧な対応について、肯定的評価であった。

否定的意見について。

○板書・スクリーン表示

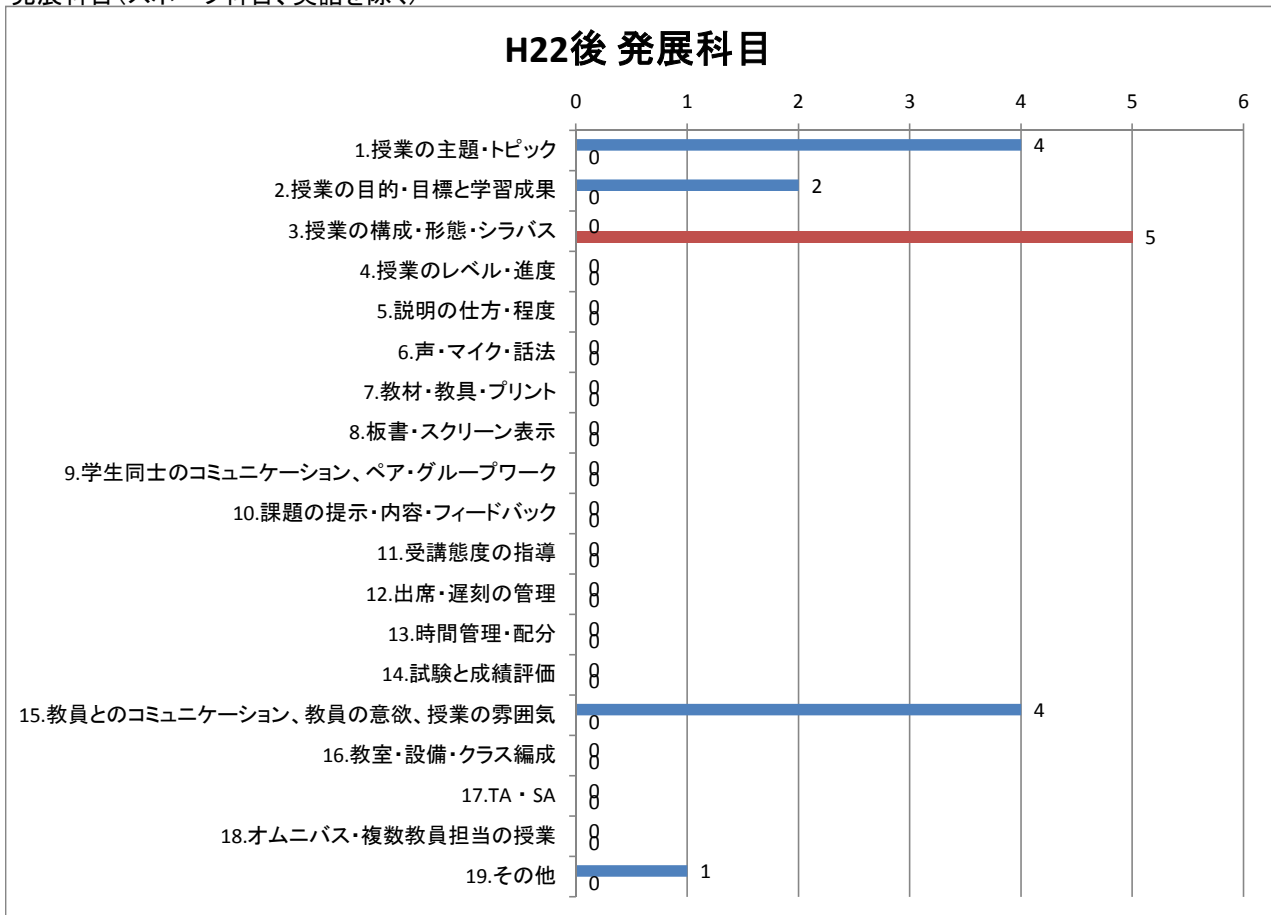
文字が読みにくい、黒板の使い方をきれいにや板書を写す時間をとって欲しい等の意見があった。

○授業の構成・形態・シラバス

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
文法の解説などがとても詳しくて分かりやすかったです。また解説の際にはプリントなども使っていて分かりやすかったです。	説明の仕方・程度	教材・教具・プリント	
この授業は、生徒が自らすすんで学習ができるような自由度の高い授業で個人的にとっても満足している。また、少人数ということもあって、授業中にも質問しやすく、その場で疑問が解決できることも魅力的である。生徒と教師のコミュニケーションもかなりとれる。	授業の構成・形態・シラバス	教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	
例文などをいくつか提示してくれたので、新しいことを習っても使い方がわかりやすかった。 授業途中で流してくれる歌の解説もしてくれるので、興味を持って歌を聴けた。	説明の仕方・程度		
たくさん音読ができてよかった。楽しかった。 ペアの授業も含めて、中国語を履修してよかったと思える授業だった。	授業の構成・形態・シラバス		
全体的に楽しい授業だった。韓国のビデオを見たり音楽を聴いたりして、韓国の文化についても学ぶことができた。また、さまざまな場面で使える韓国語会話なども、楽しかった。先生が写真や韓国の食べ物などを持ってきてくれたので、すごく韓国に対して興味を持てた。	教材・教具・プリント	授業の主題・トピック	授業の目的・目標と学習成果
書くよりも、読むよりも、話すというスタイルが良かった。これからもコミュニケーションの授業は受けたい。	授業の構成・形態・シラバス		
少人数。ゲストがきてくれる点。先生に話しやすい。	授業の構成・形態・シラバス	教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
皆に一斉に文章を読ませるのはいいことなのだけれど、積極的な生徒が少ないせいかな声が小さかったりと、ぐだぐだになっていました。生徒によっては指名するほうが良さそうです。	授業の構成・形態・シラバス		
板書を書き写せない部分があり、やや授業スピードが早いと思った。板書を写そうと思ったら説明が始まるので説明が聞けないか、板書を写せないか、という部分が多々あった。	板書・スクリーン表示		
文法が難しいのでより丁寧にしてほしい。あと、単語を覚える時間がほしい。補講が少し多すぎる。	説明の仕方・程度	授業の構成・形態・シラバス	
休講が多い。論文の書き方で時間をかけすぎている	授業の構成・形態・シラバス		
CDを配布してほしい	教材・教具・プリント		

発展科目(スポーツ科目、英語を除く)



【自由意見の特徴・傾向】

スポーツ科目、英語以外の発展科目の自由意見を集計した。平成22年度前学期とは異なる傾向が認められた。

自由意見は16件であり、そのうち愛媛大学リーダーズスクール関連科目が14件、環境ESD関連科目が2件と偏った結果であった。また、意見の内容にも偏りが見られた。肯定的意見は7割であった。以下、ポイントの高かったカテゴリーについて、特徴を記す。

○「授業の主題・トピック」

自分にとって有意義な話題が多かった、といった肯定的意見が集まった。

○「授業の構成・形態・シラバス」

このカテゴリーだけ否定的意見が5件集まった。しかし、真正面から否定している意見はなく、もう少し他のことも学びたい、といった意見が多かった。

○「教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気」

教員が親身に接してくれた、といった意見が多かった。

授業の良い点への回答例	該当するカテゴリー		
環境問題について多角的なアプローチが出来るところ。	1.授業の主題・トピック		
先生たちが皆親身になってくれる。 自分が大きく成長するきっかけをあたえてくれる。	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気	1.授業の主題・トピック	
先生たちがとても親身に自分たちと接してくれたところ。	15.教員とのコミュニケーション、教員の意欲、授業の雰囲気		
自分で課題を発見し考えることができる 先生の人生経験が豊富で勉強になる	2.授業の目的・目標と学習成果		

授業の改善すべき点への回答例	該当するカテゴリー		
もうすこしフィールドに出たい。	3.授業の構成・形態・シラバス		
個人セミナーで時間が取られてたので、自分としては他のことも学びたかった	3.授業の構成・形態・シラバス		
この授業は最後に振り返りがあったのだが、3カ月の間の中間にもこのような数人で振り返ることをすればより中が深まるし、後半どのようなことを具体的に考えていけばいいか目標を立てやすいのではないか。	3.授業の構成・形態・シラバス		